[省令第8条の4の6(1,000トン以上排出事業者用)]

様式第2号の9(第8条の4の6関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和5 年 6 月 7 日

(宛先) 長野市長 荻原 健司

提出者

住 所 長野市上高田992-3 氏 名 パナソニックホームズ信州株式会社 代表取締役 森川 一

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 026-227-4556

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、 令和4 年度の産業廃棄物処理計画 の実施状況を報告します。

事 業 場 の 名 称パナソニックホームズ信州 株式会社 東北信支店

事業場の所在地長野市上高田992-3

事 業の種 類 06 総合工事業

産業廃棄物処理計画における 令和4年4月1日~令和5年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

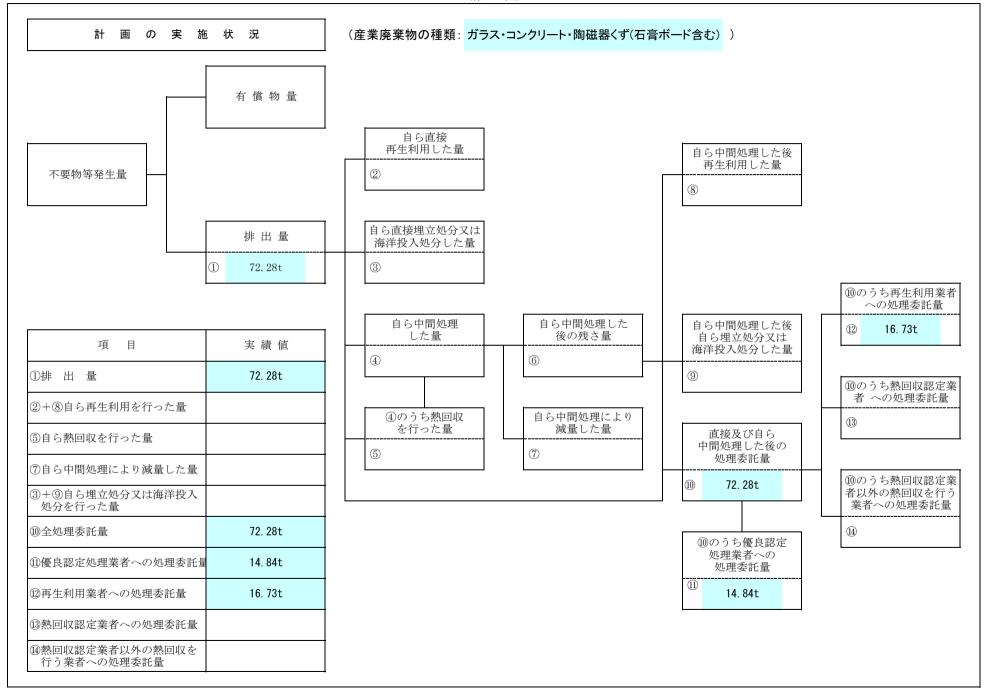
	項目		目 標 値	項目	目 標 値
排	出	量	1, 633. 16t	全処理委託量	1, 633. 16t
	ら再生利用を行 業 廃 乗 物 の			優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	77. 22t
	ら熱回収を行業廃棄物の			再生利用業者への 処理委託量	1, 538. 55t
	ら 中 間 処 より減量す 業廃棄物の	っる		認定熱回収業者への処理 委託 量	
海洋	ら埋立処分及 羊投入処分を作 業廃乗物の	うう		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0. 97t

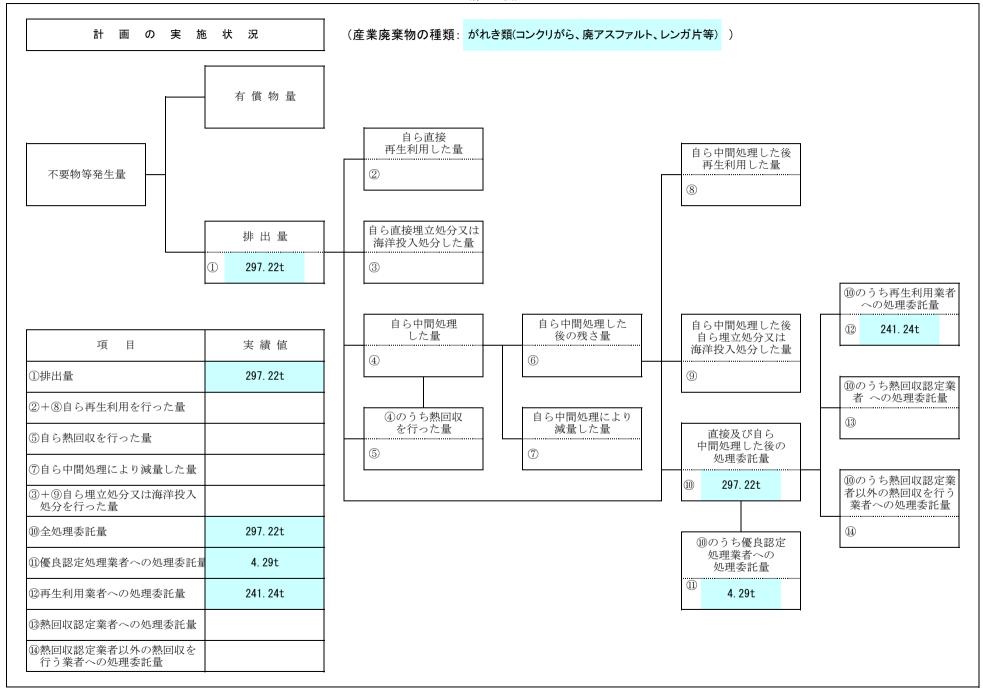
※事務処理欄

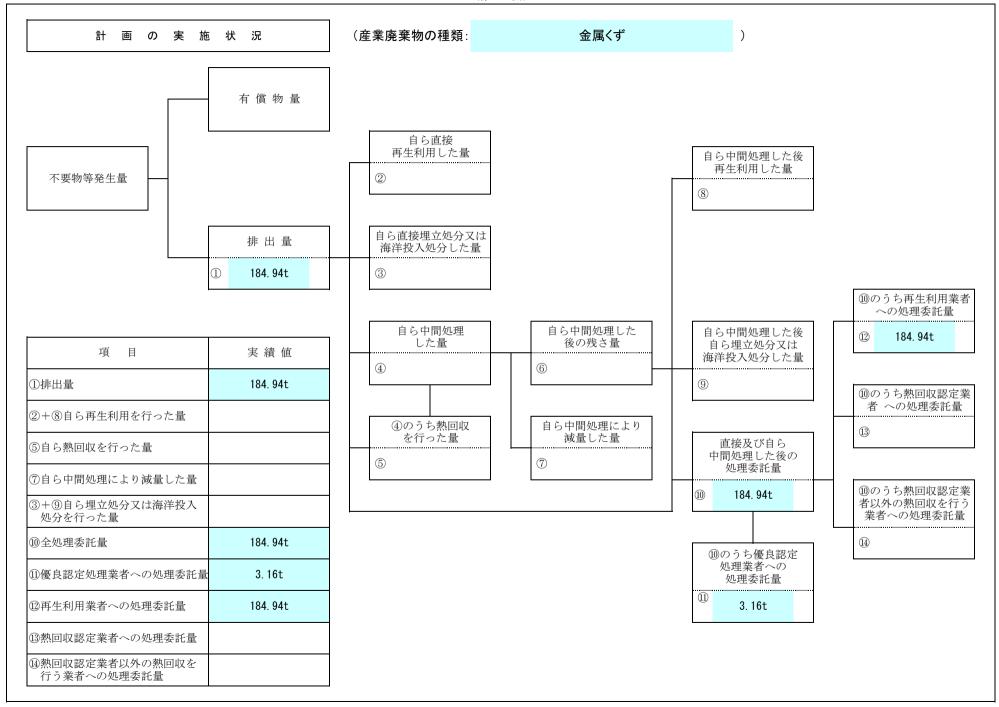
産業廃棄物処理計画実施状況(産業廃棄物の実績の量)

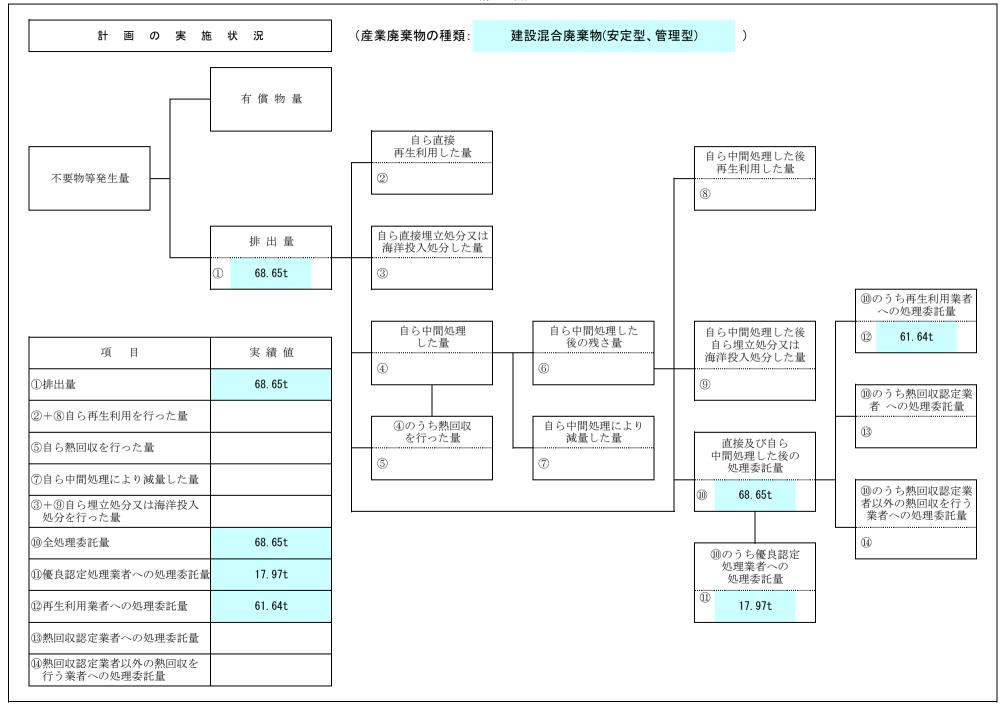
			産業・廃棄物の種類(実績値)											
	目標値	ガラス・コ ンクリート・ 陶磁器く	がれき類 (コンクリが ら、廃アス	金属くず	建設混合 廃棄物(安定型、管	紙くず	水銀使用 製品廃棄 物	石綿含有 産業廃棄 物	繊維くず	廃プラス チック(廃タ イヤ、発泡	廃電池類	木くず	合 計	
排出量	1	1, 633. 16t	72. 28t	297. 22t	184. 94t	68. 65t	15. 87t	0. 25t	25. 72t		21. 45t	0.01t	157. 78t	844. 16t
自ら直接再生利用した量	2													
自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	3													
自ら中間処理した量	4													
④のうち熱回収を行った 量	⑤													
自ら中間処理したのちの 残さ量	6													
自ら中間処理により 減量した量	7													
自ら中間処理したのち 再生利用した量	8													
②+⑧自ら再生利用 を行った量														
自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	9													
③+9自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量														
直接及び自ら中間処理 したのちの処理委託量	10	1, 633. 16t	72. 28t	297. 22t	184. 94t	68. 65t	15. 87t	0. 25t	25. 72t		21. 4 5t	0.01t	157. 78t	844. 16t
⑩のうち優良認定処理 業者への処理委託量	11)	77. 22t	14. 84t	4. 29t	3. 16t	17. 97t	15. 87t				15. 57t		11. 61t	83. 31t
への処理会託軍	12	1, 538. 55t	16. 73t	241. 24t	184. 94t	61. 64t	15. 33t				15. 56t		155. 72t	691. 16t
⑪のうち熱回収認定業者 への処理委託量 (リのつち熱回収認定素	13													
者 以外の熱回収を行う業 者	14)	0. 97t					0. 54t							 0. 54t

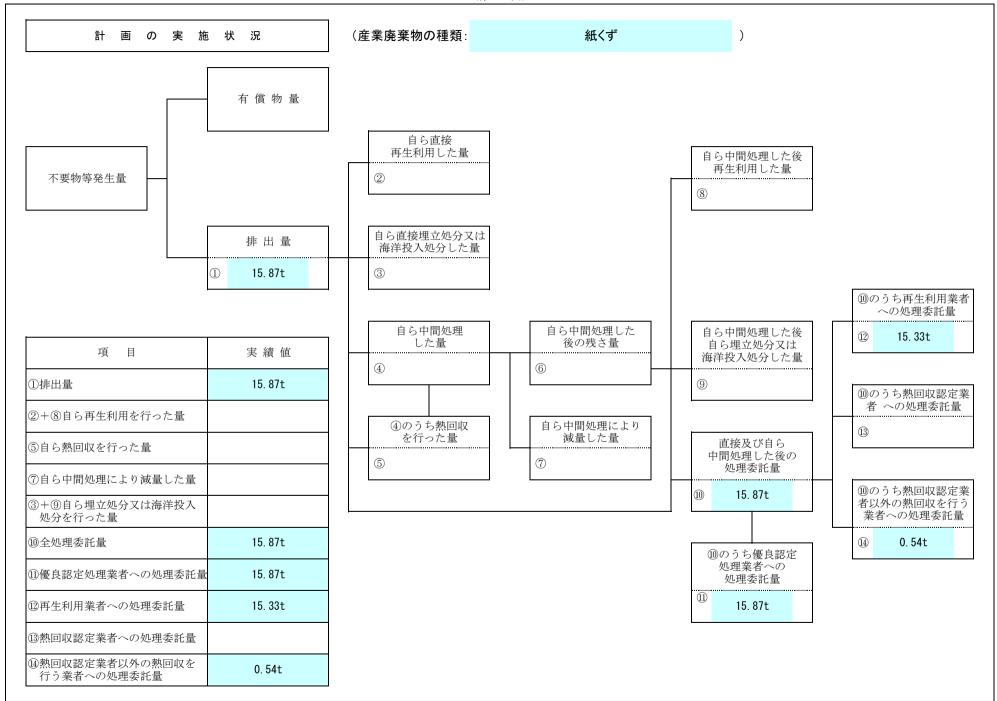
[※] 記入に当たっては、「産業廃棄物処理計画実施状況報告書」第3面備考の4を参照してください。

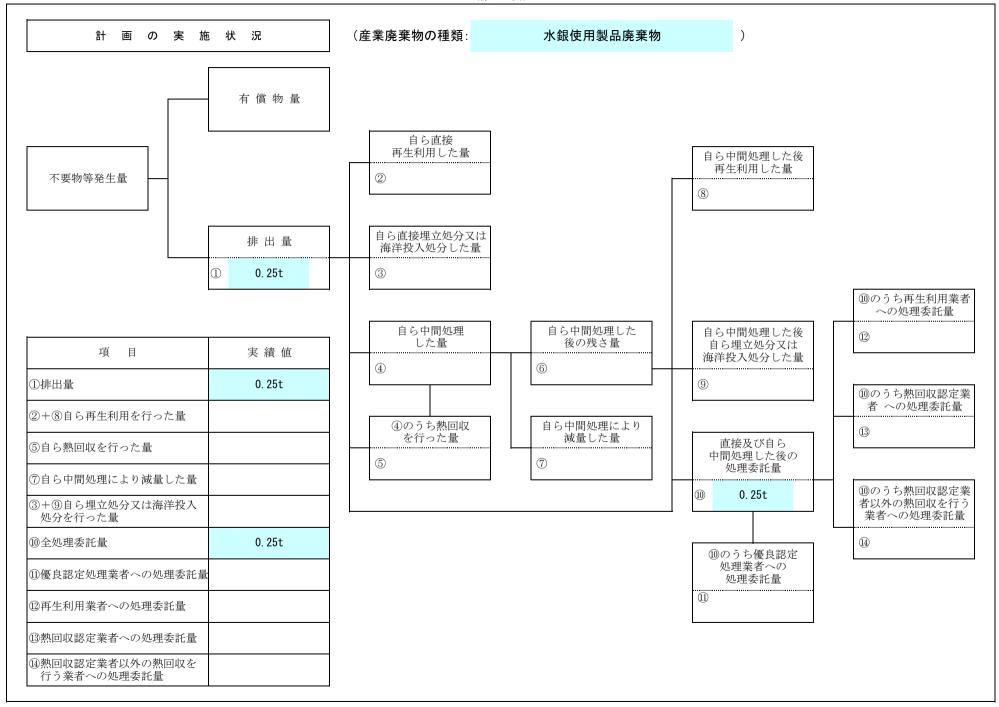


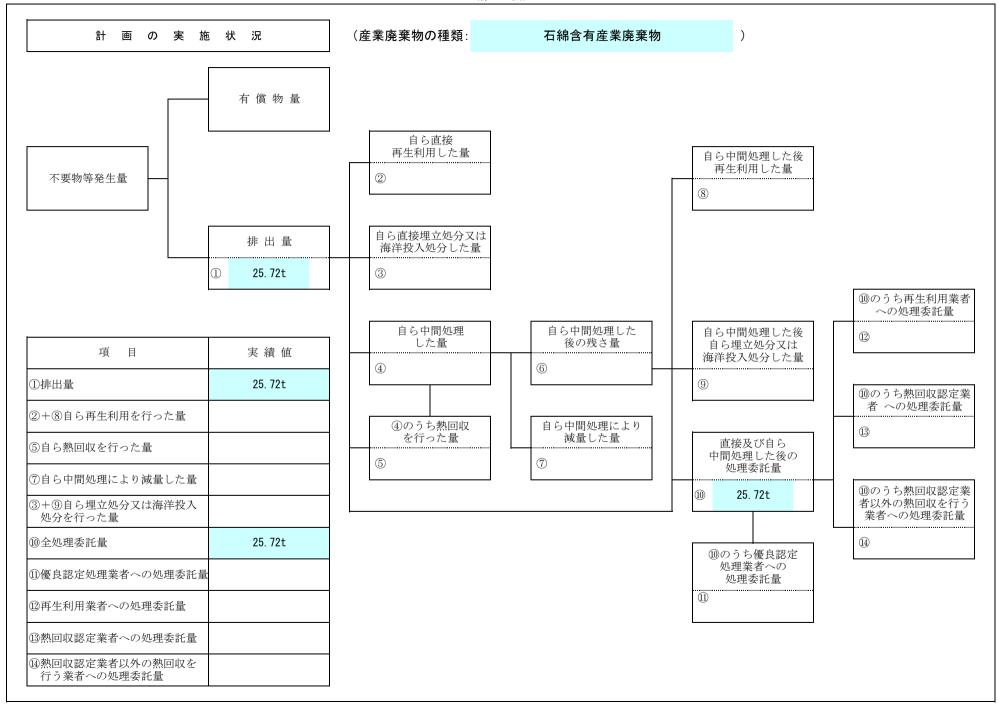


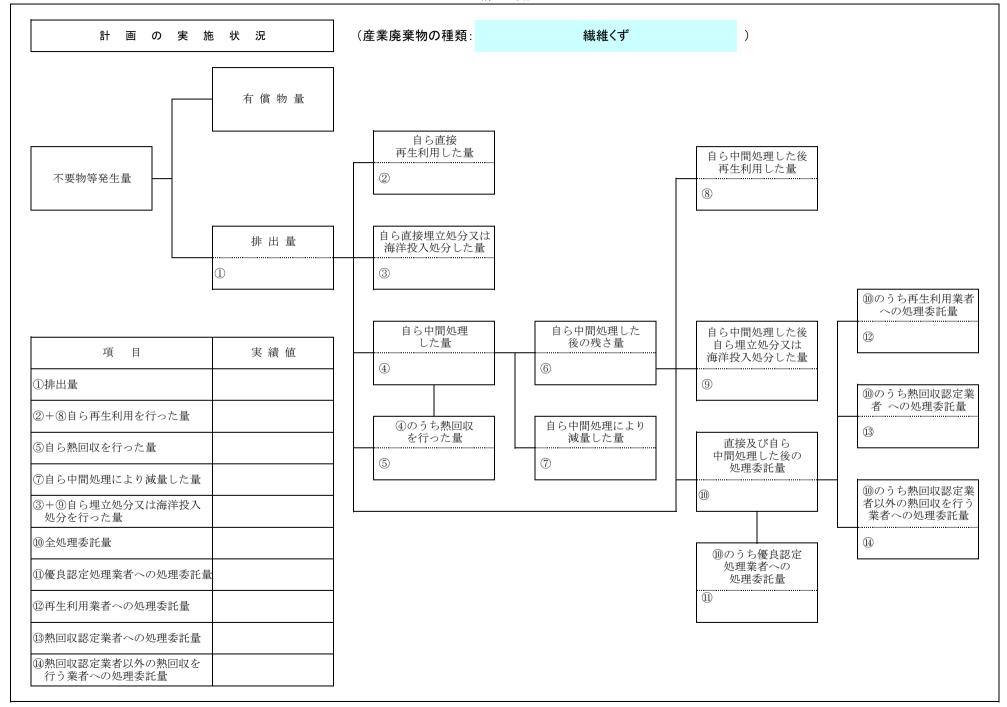


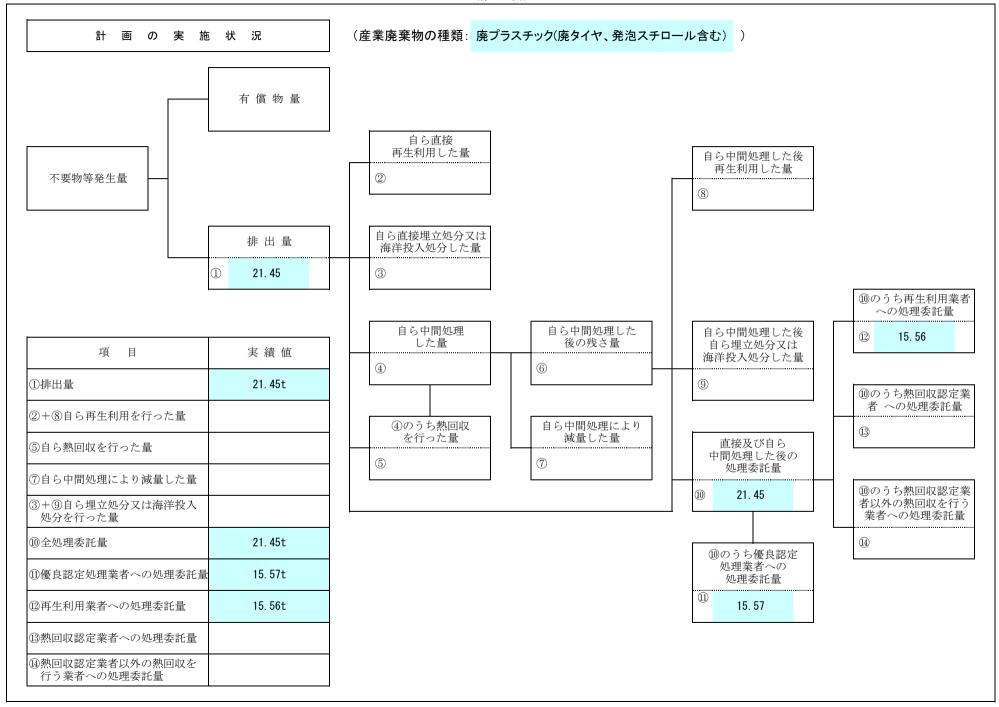


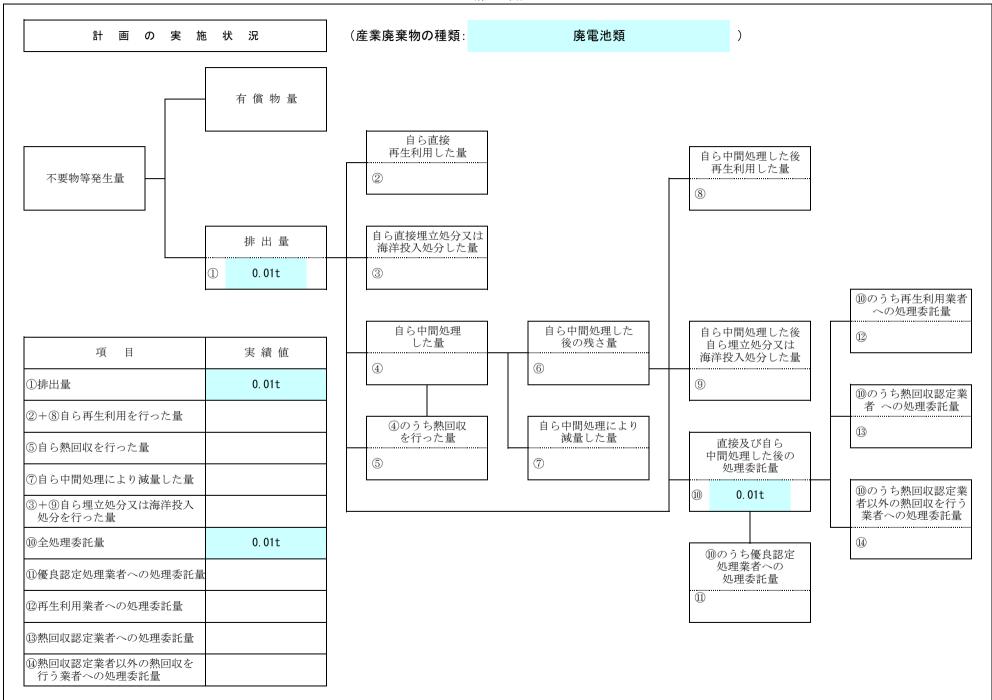


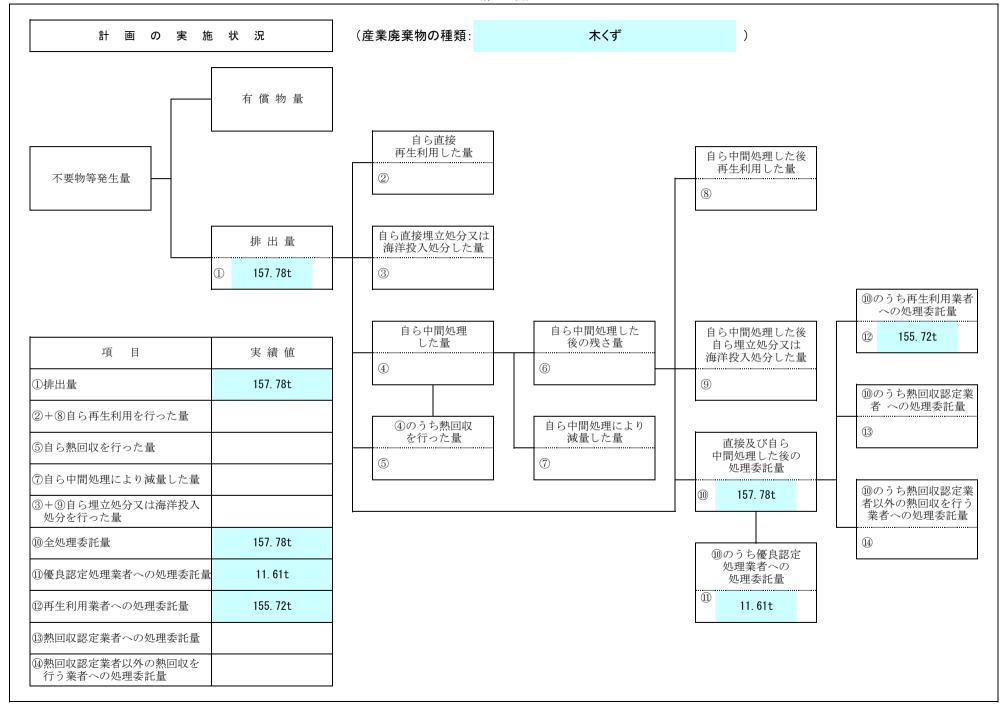












備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第 2 面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①~⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14) に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令 第6条の11第2号に該当する者) への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ③欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への 焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を 記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が12以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業 廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。